

南区区ビジョンまちづくり計画第3次実施計画の令和2年度進捗状況について

■第3次実施計画（R1（H31）～R2年度）について

- ・第3次実施計画は令和元年度（平成31年度）・令和2年度の2年間で社会状況の急激な変化に対応しながら、区が重点的に取り組む事項を掲載しています。
- ・各取組の工程や数値目標を設定し、令和2年度の評価を行います。

■令和2年度取り組み実施状況

（ ）内は第3次実施計画による令和元年度（平成31年度）度数値

目指す区のすがた	まちづくりの方針	取り組み数	取り組み内容数	評価		
				達成	概ね達成	未達成
I ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち	1 安心して、快適に暮らすまちづくり	14 (15)	26 (31)	19 (27)	7 (2)	0 (2)
	2 誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり	17 (17)	27 (27)	10 (14)	10 (12)	7 (1)
	3 区民や地域が主役となるまちづくり	6 (6)	15 (15)	12 (15)	3 (0)	0 (0)
II 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまち	4 交通の利便性が高いまちづくり	6 (6)	12 (12)	8 (10)	4 (2)	0 (0)
III 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち	5 活力のある魅力的な農業を活かしたまちづくり	9 (11)	14 (16)	7 (9)	5 (3)	2 (4)
	6 いきいきと働けるまちづくり	5 (5)	13 (13)	12 (10)	1 (0)	0 (3)
IV 大凧が舞い、獅子が跳ね、ルレクチエが実るまち	7 にぎわいと多彩な交流のまちづくり	5 (5)	9 (9)	5 (6)	3 (3)	1 (0)
	計	62 (65)	116 (123)	73 (91)	33 (22)	10 (10)
				62.9%	28.5%	8.6%

※取り組み数、取り組み内容数は重複を含む

基本方針に基づく各取り組みに対する評価は「達成」、「概ね達成」が91.4%であり、方針に基づくまちづくりを推進したと考えます。

令和2年度 南区区ビジョンまちづくり計画 第3次実施計画(2年目)進捗状況

I ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち

1 安心して、快適に暮らすまちづくり

(1) 減災に向けたまちづくり

近年全国各地で、大規模地震や豪雨など自然災害が頻発しています。災害から住民自らが命を守り、災害発生時は住民同士が助け合う体制を構築するなど地域の防災力を高め、区民と行政が共に減災に向けたまちづくりを進めます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
1	ア 自主防災組織の育成・強化	自主防災訓練の実施	自主防災訓練助成の有無に関わらず、全ての自主防災会23組織で防災訓練を実施	自主防災訓練実施組織数 17組織 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	地域総務課
		防災行政無線の運用	無線テストの実施 1回(南区独自)	テスト実施回数 1回	未達成	地域総務課
2	イ 防災意識の醸成	避難行動要支援者に対する支援	安否確認シールに代わるものを検討	実施 ※安否確認シールの配布をやめ、代わって南区共通ルールを作成(黄色い紐やタオルによる確認方法)	達成	地域総務課
		避難所毎の避難所運営方法等の検討	避難所運営検討委員会の現地での開催 1回(避難所運営方法の検討) 地域、施設管理者、市職員によるマニュアル見直し	検討委員会開催 1回 ※8月から9月にかけて避難所ごとに開催	達成	地域総務課
		防災セミナーの開催	防災セミナーの開催 1回	防災セミナーの開催 1回 ※地域防災活動実施のポイントについて ※感染症対策セミナー同時開催	達成	地域総務課
		防災教室の実施	防災教室 ・区内6中学校で実施 ・高校生防災ボランティア講座の実施 2回	・中学校防災教室 4校各1回 ・高校ボランティア講座 1回 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	地域総務課

(2)水害に対する安全の確保

水害から市民の生命と財産を守るため、信濃川水系河川整備計画に基づく信濃川の河道掘削、中ノロ川の河道掘削及び堤防整備を促進します。

事業 番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
3	ア 信濃川や中ノロ川の河道掘削と中ノロ川の堤防整備の促進	中ノロ川の河道掘削工事及び堤防かさ上げ工事について、地元と県との調整	県と進捗確認・今後の工事計画などを話し合う会議を開催 4回以上	・事業調整会議 6回 ・現地立会 1回	達成	建設課
		豪雨時に河川堤防道路及び法面の点検を実施	・豪雨時は緊急点検を実施し、異常発見時は国・県への情報提供 ・国・県との合同点検を実施 1回	・定期点検 1回 ・豪雨時の緊急点検実施と異常発見時の河川管理者への情報提供	達成	建設課
4	イ 中ノロ川の国による管理直轄化	中ノロ川の治水安全度が向上するよう、国による信濃川との一体的な管理直轄化を要望	国による信濃川との一体的な管理直轄化を毎年継続して要望 国1回、県1回	・「国の施策・予算に対する提案・要望」を国に提出 ・「県の施策・予算編成に対する河川・海岸・砂防事業要望書」を県に提出	達成	建設課

(3) 都市基盤の強化による安心・安全なまちづくり

幹線道路の整備を進め、各地域拠点間の移動時間の短縮を図るとともに、信濃川と中ノ口川に架かる老朽化が進行している橋りょうの長寿命化及び架け替えの検討を進め、災害時の緊急輸送道路の確保など防災機能強化を図ります。また、市民の安心・安全な暮らしを守るため、市街地の浸水対策を進めます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
5	ア 幹線道路の適正な維持管理	国道及び主要市道の日々の道路パトロールを実施し、補修・修繕を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・通常パトロールの実施 4日/週 ・夜間パトロールの実施 1回/週 ・橋梁パトロールの実施 4回/年 ・歩道パトロールの実施 2回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常パトロールの実施 4日/週 ・夜間パトロールの実施 1回/週 ・橋梁パトロールの実施 4回/年 ・歩道パトロールの実施 2回/年 	達成	建設課
		定期的な工事発注状況の確認と予算執行管理を実施しながら、積極的に上半期での工事発注を行う	上半期の工事発注率(発注件数÷当初発注予定件数) 80%以上	上半期の工事発注率 91%	達成	建設課
6	イ 新潟中央環状道路の早期全線供用の推進	国道116号から8号区間について、2020年度完了を目指す	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催 5回	<ul style="list-style-type: none"> ・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催 7回 ・調整会議実施 ・国道8号から西区までの本線はR3.2.15供用開始 	達成	建設課
		国道8号から49号の区間について、平成26年度に着手し早期整備の促進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・西部地域土木事務所とともに事業説明会を随時開催 ・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催 5回 	<ul style="list-style-type: none"> ・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催 6回 ・事業説明会実施 	達成	建設課

事業 番号	取り組み	取り組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
7	ウ 国道8号白根バイパスの 暫定2車線の早期供用及び 大野大橋以南の4車線化の 促進	大野大橋以南の渋滞緩和のため、4車線化の早期実現に向け、地元と国との調整	国との進捗確認・今後の工事計画などを協議 2回以上	・自治会、地権者との協議 15回 ・国との調整 11回	達成	建設課
		8号白根バイパスの早期暫定2車線供用後の旧国道8号の道路空間利用形態を「にいがた南区創生会議」で検討	にいがた南区創生会議(まちづくり部会)6回開催し、旧国道8号の道路空間の利用を検討	・会議の開催 12回 (オンライン会議・動画配信含) ・旧国道8号に限らず、南区全体の未来ビジョンを作成	達成	建設課
8	エ 信濃川と中ノロ川に架かる老朽化が進行している橋りょうの長寿命化及び架け替えの検討、維持補修の実施	もぐり橋の架け替え、老朽化の著しい橋の架け替え	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催 4回	土木事務所との会議・打合せ 12回	達成	建設課
		橋梁の安全確保に向けた補修・補強工事	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催 4回	・土木事務所との会議・打合せ 4回 ・補修補強工事の情報共有	達成	建設課
9	オ 浸水対策の推進	幹線管渠の整備後は、市街地の管渠や側溝を整備し、浸水箇所を減少する	白根中心市街地の側溝整備を実施 5箇所	側溝工事 5箇所	達成	建設課

(4) 区民の生活を守る意識づくりと対策の強化

交通事故数は、年々減少傾向にあります。特に高齢者がかかわる事故の割合が増える傾向にあるため、その防止対策の強化を進めます。
全国的に発生件数が増加している特殊詐欺被害の防止対策と防犯意識の向上に向けた対策を関係機関と連携して進めます。
火災予防に関する啓発活動についても消防署・消防団と連携・協力して進めます。

事業 番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
10	ア 交通安全対策の推進	高齢者交通安全の推進	・高齢者街頭広報の実施 2回 ・高齢者交通安全教室 12地区中3地区で実施	・高齢者街頭広報の実施 1回 ・高齢者交通安全教室 12地区中3地区で実施 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	地域総務課
		子どもたちの交通安全意識向上のための交通安全教室の開催	・全小・中学校 1回以上実施 ・幼稚園・保育園 全17園で実施	・小・中学校 9回実施(17校中9校実施) ・幼稚園・保育園 全18園で実施 (あかね保育園・白根カトリック幼稚園は独自実施) 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	地域総務課
		区民への交通安全の啓発	・各季交通安全運動 4回 (シートベルト・チャイルドシート使用啓発含) ・飲酒運転の根絶 1回	・各季交通安全運動 4回 (横断歩行者の保護啓発含) ・飲酒運転の根絶 1回	達成	地域総務課
		交通安全指導員の育成	交通安全指導員研修 5回(延べ25人参加)	交通安全指導員研修 6回(延べ36人参加)	達成	地域総務課
11	イ 防犯体制の強化と意識啓発の推進	関係機関・団体と連携した街頭啓発活動への取り組みと防犯ボランティアネットワークへの登録の推進	・街頭啓発の実施 13回以上 ・登録団体 8団体	・街頭啓発の実施 8回 ・登録団体 8団体 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	地域総務課

(5) 空き家の適正管理に向けた仕組みづくり

人口の減少や流出により空き家が増え、中には管理が不十分なため環境や防犯上の問題が起きています。空き家が適正に管理され、さらに地域コミュニティ活性化のために空き家の利活用を促進します。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
12	ア 空き家の利活用の促進	地域との情報共有と空き家の利活用に向けた仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長・町内会長研修会で啓発 1回 ・空き家相談会の実施 2回 ・空き家の利活用に向けた仕組みづくり, 地域との情報共有等 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会長研修会での情報提供依頼未実施 ・空き家情報の更新 2回 【コロナ禍の影響あり】 	概ね達成	区民生活課 地域総務課

(6) 快適な生活環境の形成と環境の保全

家庭から排出されるごみの減量及び資源の再使用・再生利用の取り組みを進めるほか、河川や田園に囲まれた豊かな自然環境の保全に取り組めます。併せて、排水路などへの生活排水の流入による、悪臭や害虫の発生を防止するため、効率的に下水道や合併処理浄化槽など総合的な汚水処理施設の整備を推進します。また、処理区域内の下水道への接続を促進します。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
13	ア 家庭系ごみの減量	地域における啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1日あたりのごみ排出量(直搬含) 501g ・地域会合やイベント等での啓発活動 15回 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1日あたりのごみ排出量(直搬含) 516g ・出張所での段ボールコンポスト特別販売会の開催(2回), 開催案内チラシの町内会回覧による啓発活動の実施 ・段ボールコンポスト年間販売個数 R1年度:84個⇒R2年度:101個 【コロナ禍の影響あり】 	概ね達成	区民生活課
14	イ 河川環境の保全	汚染物質流入・不法投棄の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・灯油漏れ事故防止の区だより啓発広報 2回 ・不法投棄防止看板の配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・灯油漏れ事故防止の区だより啓発広報 2回 ・不法投棄防止看板の配布 	達成	区民生活課

I ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち

2 誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり

(1)ひととひとが支えあう地域づくり

地域で培われた人材資源や文えめつ風工を活かし、その経験・知識を地域に役立てることにより、子どもと子育て世代、障がい者、高齢者など誰もが文えめつまちづくりを進めます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
16	ア 誰もが地域で育て見守り、つながる仕組みづくり	地域による地域福祉計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画の進行管理と年度評価による計画の推進 ・次期地域福祉計画の策定準備 ・推進委員会の開催 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画の進行管理と年度評価による計画の推進 ・次期地域福祉計画の策定・公表 ・推進委員会の開催 5回 ・福祉分野別分科会の開催 4回 	達成	健康福祉課

(2)子どもを安心して産み育てられるまち

子どもを安心して産み育てるために、子育て中の保護者が不安感や孤独感を抱えずに子育てできる環境を整備するとともに、地域の人材や関係機関との連携を図りながら、地域全体で子育てを支えます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
17	ア 子育て広場の充実	保護者の居場所の確保	<ul style="list-style-type: none"> 子育て広場の開催 30回 子育て広場参加者の交流会開催 2回 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て広場の開催 33回 子育て広場参加者交流会開催 0回 (子育て広場16回及び交流会の中止) 【コロナ禍の影響あり】 	概ね達成	健康福祉課

事業 番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
18	イ 子育て支援リーダーの育成・強化	子育て支援の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援リーダースキルアップ研修の開催 7回 ・子育て支援リーダーによる新たなリーダーの育成 1名増加(累計リーダー数21名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援リーダースキルアップ研修開催 8回 ・子育て支援リーダーによる新たなリーダーの育成 2名減少(累計リーダー数18名) 	概ね達成	健康福祉課
19	ウ 多様な保育ニーズに対応した子育て環境の整備	保育サービスの充実	0～1歳児の年度途中入園に対応するため、会計年度任用職員を募集し、3名確保	ハローワークや新潟県保育サポートセンターで募集を行い会計年度任用職員を4名確保	達成	健康福祉課
20	エ 子育て情報の発信	多様な媒体を活用して情報を発信する	区だより, HPで子育て広場などの子育て情報を発信 1回以上/月	<ul style="list-style-type: none"> ・区だより, HPで子育て広場などの子育て情報を発信(区だより:5回, HP:2回) ・子育て支援リーダーによるSNSを活用した情報発信 ・「南区子育て応援ガイド」の作成 	達成	健康福祉課
21	オ 子どもを見守る地域づくり	児童館, 子育て支援センターや地域コミュニティ協議会などと連携し情報を共有することで, 地域で子どもを見守る体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館運営協議会の開催 2回 ・コミュニティ協議会等と児童館の連携事業実施(各館10回以上) ・子育て支援センターと児童館の合同会議開催 3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館運営協議会の開催 2回 ・コミュニティ協議会等と児童館の連携事業実施 4館合計32回 ・子育て支援センターと児童館の合同会議開催 4回 ・子育て支援リーダー活動報告会 1回 【コロナ禍の影響あり】 	概ね達成	健康福祉課

(3)障がいのある人もない人も快適に暮らせるまち

障がいのある人もない人も、安心して日常生活や社会生活を営むことができるよう、区民ひとりひとりが多様性を受け入れ、誰もが「共に生きる社会」を実感できるまちづくりを進めます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
22	ア 自立支援体制の整備	住み慣れた地域での在宅生活を促進するため、在宅福祉サービスの利用促進とサービス等利用計画の相談体制強化	・福祉サービス制度の周知徹底、基幹相談支援センターの有効活用のため区だよりに掲載 ・関係機関合同研修会の実施 1回	・障がい者基幹相談支援センターの紹介記事を区だよりに掲載 1回 ・関係機関合同研修会は中止【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	健康福祉課
23	イ 就労に向けた支援	障がい者農業体験等を通じた就労に向けた機運の醸成	施設外就労で農家等との契約 8件	施設外就労で農家等との契約 8件	達成	健康福祉課
		アグリパークや農業法人などとの連携により、生産や加工などの雇用に結びつくシステムづくり	2つの障がい者施設の加工品販売の支援 販売店舗数 20店舗	障がい者施設の加工品販売の支援 販売店舗数 20店舗	達成	健康福祉課
24	ウ 障がいのある人も安全・快適に行動できる環境整備	ユニバーサルデザインに基づくバリアフリー化を推進	県バリアフリーまちづくり事業申請1件	県バリアフリーまちづくり事業申請4件、採択4件	達成	健康福祉課

(4)生活困窮者の支援

病気や事故などで働けなくなったり、離別や死別で収入がなくなるなど、何らかの原因によって生活に困っている人に対し、最低限度の生活を保障するとともに、早期に自立して生活できるように支援していきます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
25	ア 自立に向けた支援	区とハローワークによる一体的な就労支援の実施	就労支援 4回/月	就労支援 4回/月	達成	健康福祉課

(5)健康寿命の延伸

子どもから高齢者まで全ての区民が主体的に健康づくりに取り組むことができるよう支援し、健康寿命の延伸を図ります。また、家庭や地域の中で笑顔があふれ、いきいきと自分らしく、こころ豊かに健やかな生活を送ることができる地域づくりを進めます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
26	ア 生活習慣病の予防	各種教室、相談会等保健事業の実施	・健康教育 120回以上 ・健康相談 45回以上	・健康教育 93回 ・健康相談 44回 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	健康福祉課
		健康情報の発信	・区だよりによる情報提供 12回 ・イオン白根店での情報提供 半日2回	・区だよりによる情報提供 12回 ・区役所1階情報提供ブースでの健康情報の掲示 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	健康福祉課
27	イ 疾病の早期発見、早期治療	健(検)診受診勧奨	・ミニドック型集団健診での特定健診受診者 400人 ・血管年齢測定者 1,800人	・ミニドック型集団健診での特定健診受診者 291人 ・血管年齢測定者 272人 【コロナ禍の影響あり】	未達成	健康福祉課
		ハイリスク者向けの各種教室、相談会等保健事業の実施	・糖尿病予防教室の開催 1コース(3回1コース) ・教室修了者のつどい 1回 ・糖尿病予防公開講座 1回	・糖尿病予防教室の開催 1コース(2回1コース) ・教室修了者のつどい 2回 ・糖尿病予防公開講座 1回	達成	健康福祉課
28	ウ 地域ぐるみで健康づくりの推進	健康づくり講座を開催し、地域での健康づくりを促進する	食育の視点を入れた健康づくり講座の実施 5回	・免疫力アップ講座(食育・運動含む) 1回 ・健康づくり講座(ウォーキング)の実施 1クール3回 ・糖尿病予防公開講座 1回	達成	健康福祉課
		保健会やコミ協と連携し、生活習慣病予防のための意識を啓発	・保健会による学習会の開催 14地区 ・はかるう体重!あるこう南区!大作戦の実施 達成者1,000人	・保健会による学習会の開催 10地区 ・はかるう体重!あるこう南区!大作戦の実施 達成者757人 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	健康福祉課
		地域で取り組む食生活の改善と運動習慣の普及	食生活改善推進委員、運動普及推進委員研修会の実施 12回	食生活改善推進委員、運動普及推進委員研修会の実施 14回	達成	健康福祉課

(6)高齢者が安心して暮らせるまち

住み慣れた家庭や地域で安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療・保健・介護・福祉の連携を強化し、在宅医療の支援体制を推進します。

事業 番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
29	ア 高齢者の介護予防と社会参加	老人福祉センターの指定管理者による生きがい推進事業の実施支援	各施設で自主事業実施 ・白寿荘 45回 ・楽友荘 2回 ・月寿荘 2回	指定管理者が実施する自主事業はその内容を考慮してほとんどのイベントで中止となり、白寿荘のみ以下イベントを各1回開催 骨密度測定会(8月)、お笑いバラエティ(12月) 【コロナ禍の影響あり】	未達成	健康福祉課
		地域の茶の間の充実	・地域の茶の間新規設置件数 3件 ・地域の茶の間(1回以上/週) 3件	・地域の茶の間新規設置件数 3件 ・地域の茶の間(1回以上/週) 2件 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	健康福祉課
30	イ 高齢者を地域で見守る仕組みづくり	高齢者を地域で見守り支援する意識醸成と仕組みづくり	・地域での「地域包括ケアシステム」説明会 45回 ・地域ボランティア育成研修会 2回	・地域での「地域包括ケアシステム」説明会 21回 ・地域ボランティア育成研修会 0回 ※その他、「支え合いのしくみづくりフォーラム」を市主催事業として開催 【コロナ禍の影響あり】	未達成	健康福祉課
31	ウ 在宅医療の支援体制の推進	在宅医療ネットワークグループとの協働	多職種連携研修会の開催 2回 (うち区民向け啓発講演会 1回)	多職種連携研修会の開催 1回 (うち区民向け啓発講演会 1回) 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	健康福祉課

(7)生涯を通じた活躍の場づくり

健康で豊かな人生を送るため、生涯にわたり誰もが、いつでも学ぶことができる場を提供するとともに、スポーツ活動の支援を行い、いきいきと活躍できるまちづくりを進めます。

事業 番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
32	イ ひととまちを元気にする生涯スポーツ	体育施設の利用促進	南区内体育施設等 利用者数 313,000人	南区内体育施設等 利用者数 135,511人 【コロナ禍の影響あり】	未達成	地域総務課
		健康づくりや世代間交流、地域間交流の推進	ウォーキング大会の開催 参加申込者数 165人以上	ウォーキング大会の開催 参加申込者数 153人 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	地域総務課
			フロアカーリング大会の開催(2回) 参加申込者数 350人以上	フロアカーリング大会は2大会とも中止 【コロナ禍の影響あり】	未達成	地域総務課
			白根ハーフマラソン大会の開催 参加申込者数 2,000人以上	白根ハーフマラソン大会は中止 【コロナ禍の影響あり】	未達成	地域総務課
			スポーツ人口の底辺の拡大	少年少女親善スポーツ大会の開催 参加者数 410人以上	少年少女親善スポーツ大会の開催 参加者数 180人 (※ソフトテニス、ミニバスケットボールは中止) 【コロナ禍の影響あり】	未達成

I ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち

3 区民や地域が主役となるまちづくり

(1) 区民と行政の協働の推進

地域との情報共有を図りながら、区自治協議会、地域コミュニティ協議会などとの協働を深め、様々な地域課題の解決に取り組み、区民ひとりひとりが地域の中で主役となるまちづくりを進めます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
33	ア 地域コミュニティ活動の活性化	コミュニティ協議会等への支援	運営支援 12コミュニティ協議会	支援実績 ・運営費 17件(総額の89%) ・活動費 6件(総額の11%)	達成	地域総務課
			地域コミュニティ協議会、自治会、NPO等の事業を支援 60事業	・事業を支援 45事業 ・その他、感染症対策のための用品配布、セミナー開催及び地域生活センター整備等の支援 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	地域総務課
		地域活動の支援	コミュニティ・コーディネーター育成講座企画実施 4回	コミュニティ・コーディネーター育成講座企画実施 12回	達成	白根地区公民館
			コミュニティ協議会研修会の開催 1回	コミュニティ協議会研修会の開催 2回 ・施設の利用率向上に関する研修 ・広報誌・チラシ作成に関する研修	達成	地域総務課
			自治会長研修会の開催 1回	自治会長研修会の開催 1回(書面)	達成	地域総務課
		地域活動の情報の発信、交換、共有を図る	市HP等による情報発信 60回	市HP等による情報発信 86回	達成	地域総務課
		ワーク・ライフ・バランスの推進	区だより等による広報・啓発 2回 男女共同参画推進員と連携した企画事業の開催 2回	・区だよりによる広報 2回 ・市政情報モニターを活用した広報 1回 ・映画上映会の開催 1回	達成	地域総務課 男女共同参画課

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
34	イ 区民と行政の協働の推進	コミュニティ懇談会	懇談会の開催 12コミュニティ協議会	懇談会の開催 12コミュニティ協議会	達成	地域総務課
		地域おこし協力隊(みなみーて地域応援隊)を活用した地域活性化への寄与	隊員の活動に対して支援を行い、地域活性化を進める	・アマビエ風の制作、風揚げ 白根高校生らと、コロナウイルス収束を願う「アマビエ風」(6畳大)を企画・制作し、テレビ・新聞に取り上げられ、南区の伝統文化のPRに寄与 ・南区紹介動画の制作(Youtube) ・外国人向け農業体験ツアー 白根高校と連携、地元農家の協力を得て、ブドウ狩り、ジェラートづくり、農業機械運転、パッケージづくりなどの各種農業体験ツアーを実施	達成	地域総務課
		地域要望・課題について、「地域応援団」と各コミュニティ協議会との説明会・懇談会を開催	説明会・懇談会の開催 12コミュニティ協議会各2回	「地域応援団」事業として説明会を各2回開催できなかったが、代わりに書面回答を実施【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	建設課
35	ウ 区政情報の発信・共有	区役所だよりや、区のホームページなどを活用した効果的な情報発信	・区公式PRツイッターフォロワー数 前年度以上 ・報道への棚入れ件数 前年度以上	・区公式PRツイッターフォロワー数 2,298 (ツイート数:153 前年比:+34) ・報道への棚入れ件数 48件(前年比:-20) (プレスリリース配信サイト「ピーアール・タイムズ」による情報発信を実施) 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	地域総務課
		区長の手紙などの広聴活動により区政運営に意見を反映	区長への手紙の簡易な案件は受理後14日以内に差出人に回答	区長への手紙の簡易な案件は14日以内で回答(受理から回答まで平均10.5日)	達成	地域総務課

(2) 地域で支える教育活動の推進

少子化が急激に進んでいる今、地域と子どものつながりは、ますます重要なものとなっています。地域と学校が連携して学校教育活動の一層の充実を図るとともに、地域との様々な活動を結ぶネットワークづくりや共同事業などを推進し、郷土愛にあふれる子どもを地域社会全体で育てます。

事業 番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
36	ア 地域と学校の連携を支援	地域と学校の連携による地域の活性化	白根高校生徒による地域へのボランティア活動の実施 18回	白根高校生徒による地域へのボランティア活動等の実施 20回	達成	白根地区 公民館

(3) 区民ニーズに応え、信頼される区役所づくり

区民のニーズにあった区政運営を進めるとともに、南区役所サービス憲章に沿った職員の育成と資質の向上を図ります。

事業 番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
37	ア 区ビジョンまちづくり計画と区政運営の着実な推進	区ビジョンまちづくり計画の進行管理	第3次実施計画の進行管理と年度評価 第4次実施計画の策定	第3次実施計画の進行管理と年度評価 第4次実施計画の策定	達成	地域総務課
38	イ 南区役所サービス憲章に沿った職員の育成と資質の向上	区独自研修による職員資質の向上	区独自研修等の実施 12回	区独自研修等の実施 12回	達成	地域総務課

Ⅱ 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまち

4 交通の利便性の高いまちづくり

(1) 便利で快適な公共交通体系の構築

バス交通の充実により、国道8号を基軸とし、都心や近隣地域へのアクセス機能や路線相互の乗換機能を高め、全ての利用者にとって利便性が高く、快適な公共交通体系をつくります。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
39	ア 公共交通体系の構築	区バス等の新規路線やバス事業者への区間移管などの検討	南区バス, 乗合タクシー利用者数合計 28,000人以上	南区バス, 乗合タクシー利用者合計 27,233人 ・区バス 25,809人 ・乗合タクシー 1,424人 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	地域総務課
		住民バス運行支援	月湯住民バス利用者数 2,350人以上	月湯住民バス利用者数 1,980人 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	地域総務課
		公共交通事業者, 区民との連携・意見交換	公共交通事業者, 区民との連携・意見交換の実施 5回	公共交通事業者, 区民との連携・意見交換の実施 20回	達成	地域総務課
40	イ 区内公共交通の利用環境整備と意識の向上	区内公共交通の方向性について民間等と意見交換	にいがた南区創生会議全体会, 交通部会等への参画 40回	にいがた南区創生会議 21回 ・全体会(書面開催) 1回 ・役員, エリア会議 20回 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	地域総務課
		公共交通関連情報の発信	・区役所だより公共交通記事掲載 12回 ・出前講座の実施 12回	・区役所だより(公共交通関連) 15回 ・出前講座の実施 1回 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	地域総務課

(2) 早期点検補修による幹線道路と橋りょうの維持管理・整備促進

早期の点検補修により幹線道路と橋りょうの維持管理を実施し、その長寿命化を進め、地域の生活交通の確保、公共交通の利便性の向上を図ります。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
41	ア 幹線道路の適正な維持管理【再掲】	国県道及び主要市道の日々の道路パトロールを実施し、補修・修繕を行う【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・通常パトロールの実施 4日/週 ・夜間パトロールの実施 1回/週 ・橋梁パトロールの実施 4回/年 ・歩道パトロールの実施 2回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常パトロールの実施 4日/週 ・夜間パトロールの実施 1回/週 ・橋梁パトロールの実施 4回/年 ・歩道パトロールの実施 2回/年 	達成	建設課
42	イ 新潟中央環状道路の早期全線供用の推進【再掲】	国道116号から8号区間について、2020年度完了を目指す【再掲】	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催5回	<ul style="list-style-type: none"> ・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催7回 ・調整会議実施 ・国道8号から西区までの本線はR3.2.15供用開始 	達成	建設課
		国道8号から49号の区間について、平成26年度に着手し早期整備の促進を図る【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・西部地域土木事務所とともに事業説明会を随時開催 ・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催5回 	<ul style="list-style-type: none"> ・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催6回 ・事業説明会実施 	達成	建設課
43	ウ 国道8号白根バイパスの暫定2車線の早期供用及び大野大橋以南の4車線化の促進【再掲】	大野大橋以南の渋滞緩和のため、4車線化の早期実現に向け、地元と国との調整【再掲】	国との進捗確認・今後の工事計画などを協議2回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、地権者との協議 15回 ・国との調整 11回 	達成	建設課
		8号白根バイパスの早期暫定2車線供用後の旧国道8号の道路空間利用形態を「にいがた南区創生会議」で検討【再掲】	にいがた南区創生会議(まちづくり部会)を6回開催し、旧国道8号の道路空間の利用を検討	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催 12回(オンライン会議・動画配信含む) ・旧国道8号に限らず、南区全体の未来ビジョンを作成 	達成	建設課

事業 番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
44	エ 信濃川と中ノロ川に架かる老朽化が進行している橋りょうの長寿命化及び架け替えの検討, 維持補修の実施【再掲】	もぐり橋の架け替え, 老朽化の著しい橋の架け替え【再掲】	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催 4回	・土木事務所との会議・打合せ 12回	達成	建設課
		橋梁の安全確保に向けた補修・補強工事【再掲】	・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を開催 4回	・土木事務所との会議・打合せ 4回 ・補修補強工事の情報共有	達成	建設課

Ⅲ 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち

5 活力のある魅力的な農業を活かしたまちづくり

(1) 特産物の産地化・ブランド化の推進

安心・安全で低コストな米づくりを推進し、新潟米のブランドを維持します。また、「食と花の銘産品」の西洋なし「ル・レクチエ」、食用菊「かきのもと」、日本なし「新興」「新高」、ぶどう「巨峰」、いちご「越後姫」、しろねポーク、チューリップ、アザレア、ボケなどの一層のブランド化を進めるとともに、園芸作物の生産を拡大し、産地の維持・発展を図ります。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
45	ア 安心・安全で低コストな米づくりの推進	付加価値の高い売れる米づくり	コシヒカリ1等米比率 90%以上	コシヒカリ1等米比率 ・白根地区 87 % ・味方地区 78 % ・月潟地区 92 %	概ね達成	産業振興課
		多様なニーズに対応した生産	非主食用米作付面積 660ha以上	非主食用米作付面積 507ha	概ね達成	産業振興課
46	イ 農畜産物のブランド化と生産・販路拡大	・販売促進PR事業の実施 ・各種メディアの活用 ・区農産物のイメージアップ	・南区観光協会Facebookでの農産物PR 20回 ・パブリシティ活用によるPR 10回	・南区観光協会Facebookでの農産物PR 23回 ・パブリシティ活用によるPR 116回	達成	産業振興課
		・ブランド品目の育成と輸出の促進 ・稲作農家への園芸作物導入 ・転作作物の産地化・ブランド化	・支援事業の周知 ・地域特産作物作付面積 140ha以上	・再生協だより発行 ・地域特産作物作付面積 139ha	概ね達成	産業振興課

(2) 資源循環, 環境重視型の農業の推進

消費者に理解される環境にやさしい生産地を目指し, 循環型農業の確立を図るため, 資源循環事業を実施し, 安心・安全な農業を確立します。また, 農地の有する水源かん養や景観の保持, 防災などの多面的機能の維持向上のため, 農地の維持活動を通じて, その環境保全を進めます。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
48	ア 資源循環事業の実施	多面的機能支払交付金事業の推進	田んぼダム実施面積 3,400ha	田んぼダム実施面積 3,098ha	概ね達成	産業振興課
50	ウ 農地維持活動, 環境保全活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全地域活動の支援 ・生物多様性に配慮した生産活動 ・魅力的な農村景観の継承 	環境保全活動取組面積率 90%以上	環境保全活動取組面積率 91%	達成	産業振興課

(3) 多様な担い手の育成

農地の有効利用や農業経営の効率化を進める担い手への農地集積を進めるため「人・農地プラン」を地域で推進し, 水田の大規模経営化を図るとともに, 園芸や畜産経営の高度化を進めるなど, 多様な担い手を育成します。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
51	ア 「人・農地プラン」の推進と生産性の高い農業経営の確立	担い手への農地集積の促進	認定農業者への農地集積率 70%	認定農業者への農地集積率 70%	達成	産業振興課
		経営管理の合理化 法人化の促進	新規法人組織設立 1件	新規法人組織相談 1件	未達成	産業振興課
52	イ 新規就農者, 青年就農者の育成, 支援	新規就農者や青年就農者の相談の場の明確化とサポート	新規就農者数 15名	新規就農者数 12名(就農:8名, 就業:4名)	概ね達成	産業振興課

(4)農商工連携の推進

豊富で良質・新鮮な農産物を活かして、農商工連携による6次産業化を推進し、付加価値の高い農産品の開発を進めるとともに、地域ビジネスの展開や新たな産業の創出、雇用の創出によって、地域全体の所得増大につなげ南区の活性化を図ります。

事業 番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
55	ア 農商工連携による6次産業化	農商工連携による6次産業化の推進	南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品 2品	南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品 8品	達成	産業振興課
		民間等と協働による新商品開発	民間等と協働により開発した新商品 4品	民間等と協働により開発した新商品 8品	達成	産業振興課

(5) 互恵による都市・農村交流の推進

アグリパークと連携して農村・都市交流を進め、交流人口の拡大を図ります。また、農業・農村は農業生産活動による国土の保全、水源かん養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの多面的機能を有しており、生活や経済の安定に重要な役割を果たしていることを、交流を通じて都市住民の理解を広げます。

事業 番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
57	ア アグリパークとの連携による交流人口の拡大	アグリパークと観光農園、観光施設の連携促進	区内観光施設等との連携企画 5件	5件 ・アグリパーク宿泊者対象の観光農園「特別優待券」 発行184件⇒利用10件 ・アグリパークでの南区観光パンフレット配布 ・はかるう体重大作戦達成賞(アグリパーク内レストラン優待券) 37件 ・南区フルーツフェスタ(朝カフェ)開催 ・外国人農業体験ツアー(枝豆収穫体験)	達成	産業振興課
		観光イベント等でのアグリパークのPR	県外イベントなどでのPR活動 3回	県外物産展参加なし 【コロナ禍の影響あり】	未達成	産業振興課
58	イ 農地維持活動、環境保全活動の支援【再掲】	・環境保全地域活動の支援 ・生物多様性に配慮した生産活動 ・魅力的な農村景観の継承【再掲】	環境保全活動取組面積率 90%以上	環境保全活動取組面積率 91%	達成	産業振興課

Ⅲ 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち

6 いきいきと働けるまちづくり

(1) 産業活性化による雇用創出

各商工会などと連携し、経営全般についての相談に対する指導を活かすなど、既存企業の経営基盤強化を図るとともに、企業の進出状況や支援制度などの情報を広域的確に提供することにより企業を誘致し、産業の活性化と、雇用の場の創出を図ります。

事業番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
59	ア ニューフードバレー構想の推進と企業立地の促進	食品加工・商品開発の支援	南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品 2品	南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品 8品	達成	産業振興課
		企業誘致につながるPR等を実施	・南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品 2品 ・各特色ある区づくり事業実施に係る新商品、お土産品等の展示・販売・PRの回数 10回	・南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品 8品 ・各特色ある区づくり事業実施に係る新商品、お土産品等の展示・販売・PRの回数 20回	達成	産業振興課
60	イ 地域企業の連携促進	中小企業者の設備投資を支援	・設備投資補助制度利用数 4件 ・制度融資の利用数 100件	・設備投資補助制度利用数 7件 ・制度融資等の利用数 延べ789件	達成	産業振興課
		管内企業が相互に連携できる環境づくりの支援	区内3商工会(白根・味方・月潟)及び白根経営振興協議会、各工業団地企業会との情報交換会等の実施、参加数 20回	区内3商工会(白根・味方・月潟)及び白根経営振興協議会、各工業団地企業会との情報交換会等の実施、参加数 11回 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	産業振興課
61	ウ 伝統的な地場産業への支援	伝統的工芸品である白根仏壇と月潟鎌の支援	新商品及び白根仏壇PR 8回	新商品及び白根仏壇PR 9回	達成	産業振興課

(2) まちなかの活性化

人口減少や超高齢社会に対応し、にぎわいがあり、誰もが不便なく安心・安全に暮らせる持続可能なまちづくりを推進するために、まちなかの活性化を図ります。

事業 番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
63	ア 拠点商業活性化推進事業計画 (平成27年度～平成31年度)の実施	「利用しやすく、安心できる商店街」の実現のための取り組み	商業活性化事業の取組み支援 10件	商業活性化の取組み支援 13件(内、拠点商業地内5件)	達成	産業振興課
			計画最終年度 1日当たりの			
			計画最終年度 60歳以上の利用頻度 週1回以上60%以上に向けた取り組み			
			計画最終年度 子育て世代の利用頻度 週1回以上50%以上に向けた取り組み			
		「人々が集う、にぎわいのある商店街」の実現のための取り組み	南区内の空き店舗及び空き家の新規活用件数 3件	南区内の空き店舗及び空き家の新規活用件数 3件	達成	産業振興課
			商業活性化事業の取組み支援 10件	商業活性化の取組み支援 13件(内、拠点商業地内5件) 【再掲】	達成	産業振興課
			計画最終年度 商店街利用者の満足度			
		計画最終年度 子育て世代の満足度				
		「愛着と誇りを持てる宝物のある商店街」の実現のための取り組み	歴史や文化・工芸にちなんだイベント数 2件	歴史や文化・工芸にちなんだイベント数 3件	達成	産業振興課
			地域の宝物を利用した商品やサービス数 1回	地域の宝物を利用した商品やサービス数 2回	達成	産業振興課

事業 番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
64	イ 商店街への支援	まちなかカルチャースクールの実施	まちなかカルチャースクールの実施 2回	まちなかカルチャースクールの実施 2回	達成	産業振興課
		商店街マップの利用促進	まち歩きマップの作製	・南区まち歩きガイドブックの製作 2,000部 ・まちあるきの開催 14回	達成	産業振興課
		魅力ある商店街づくりを支援	商業活性化事業の取組み支援 10件	商業活性化の取組み支援 13件(内、拠点商業地内5件) 【再掲】	達成	産業振興課

IV 大風が舞い、獅子が跳ね、ルレクチェが実るまち

7 にぎわいと多彩な交流のまちづくり

(1) 発信力の向上と交流人口の拡大

白根大風合戦、笹川邸(市所有唯一の国重要文化財旧笹川家住宅)、郷土芸能角兵衛獅子、そのほか地域固有の文化施設や伝統行事に「食」を組み合わせた観光プランなどを構築することにより、通過型観光から滞在型観光への転換を図り、交流人口の拡大につなげます。

事業 番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
65	ア 滞在型観光の定着に向けた観光プランの構築	誘客を目的とした旅行商品の造成、販売の促進	ツアー実施 1回	オンラインツアー実施 3回(ぶどう、ルレクチェ、生ハム)	達成	産業振興課
		商店街マップの利用促進【再掲】	まち歩きマップの作製	・南区まち歩きガイドブックの製作 2,000部 ・まちあるきの開催 14回	達成	産業振興課
66	イ 各種イベントなどにおける誘客宣伝	首都圏や関西圏での物産展の開催と検証	首都圏での物産展等の開催 4回	・ふるさと渋谷フェスティバルオンライン参加 ・オンラインツアー(ブドウ、ルレクチェ、生ハム)で首都圏参加者と交流 ・ルレクチェスムージーを新幹線で販売 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	産業振興課
		県外観光キャラバンやメディアを活用した南区の観光資源の広告宣伝を展開	・サポーターズミーティングなどでのPR 1回 ・観光情報誌等による情報発信	・SNS(フェイスブック、インスタ)での情報発信 ・インスタフォトコン 1回 ・オンラインツアー 3回	達成	産業振興課

事業 番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
67	ウ 南区観光情報の発信	南区の魅力や宝ものの情報発信を支援	ホームページ改修(アクセシビリティ向上) 1件	南区観光協会ホームページリニューアル(ルレクチェブランディング, 月湯まつり, 大道芸フェス, かぐらin笹川邸, インスタフォトコンほか ページ追加)	達成	産業振興課
			南区観光協会SNS(フェイスブック, インスタグラム)フォロワー数 2,400件	フォロワー数 3,052件 (観光協会フェイスブック:683, 観光協会インスタグラム:1,031, 風合戦フェイスブック:1,338)	達成	産業振興課
		区役所だよりや, 区のホームページなどを活用した効果的な情報発信【再掲】	・区公式PRツイッターフォロワー数 前年度以上 ・報道への棚入れ件数 前年度以上	・区公式PRツイッターフォロワー数 2,298 (ツイート数:153 前年比:+34) ・報道への棚入れ数 48件(前年比:-20件) (プレスリリース配信サイト「ピーアール・タイムズ」による情報発信を実施) 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	地域総務課

(2)地域の宝ものみがきと次世代への継承

地域固有の文化施設や伝統行事などの魅力を向上させるとともに, 保全と活用を図り, 次世代へ継承します。

事業 番号	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			R2年度	R2年度実績		
68	ア 個性ある伝統文化を活かした地域づくり	地域伝統文化保存育成のための地域活動支援	・伝統文化等保護継承団体での活動者数 500人 ・伝統芸能フェスタ観覧者数 400人	・伝統文化等保護継承団体での活動者数 251人 ・伝統芸能フェスタは開催中止 【コロナ禍の影響あり】	未達成	地域総務課
69	イ 地域の宝ものの保全と活用	文化資源の知名度向上及び保全活用	文化施設年間入館者数 25,000人	・文化施設年間入館者数 13,066人 ・しろね大凧と歴史の館 9,824人 ・旧笹川家住宅 3,242人 【コロナ禍の影響あり】	概ね達成	地域総務課